

# ヘルスケアマネジメント実習

必修 開講年次：4年次後期 科目区分：実習 単 位：3単位 講義時間：135時間

■**科目のねらい**：ヘルスケアマネジメント実習では、病院等において組織的に看護ケアを提供するためのシステム構築、運営やマネジメント機能について、実践的組織活動を通して学ぶ。具体的には、学生自身が関心のある施設において、これまでの授業で学んできた知識・技術を、実践を通して確認することにより、理論と実践を結び付ける。

- 到達目標**：①チームの一員として役割を担う。  
②ケア実現のためのマネジメント能力を養う。  
③危機発生時の対処方法を理解し、リスクマネジメントができる。  
④看護師の倫理綱領を遵守し、保健医療専門職として責任ある行動を取る。  
⑤既習の知識と技術の統合・活用を通して自己の課題を明確にする。

■**担当教員**：【◎は科目責任者】

◎矢野 祐美子・猪股 千代子・上村 浩太・大野 夏代・貝谷 敏子・神島 滋子・菅原 美樹・藤井 瑞恵・古都 昌子・村松 真澄・守村 洋・伊東 健太郎・工藤 京子・小坂 美智代・田中 広美・原井 美佳・三上 智子

■**授業計画・内容**：

実習施設（予定）：市立札幌病院、手稲溪仁会病院、KKR札幌医療センター、札幌厚生病院、JR札幌病院、天使病院、旭山病院、介護老人保健施設プラットホーム

実習内容：平成29年度ヘルスケアマネジメント実習 実習要項参照

■**教科書**：指定なし

■**参考文献**：上泉和子他、看護の統合と実践〈1〉看護管理（系統看護学講座 統合分野）、医学書院

■**成績評価基準と方法**：実習態度（20%）、実習記録・課題（60%）、発表（20%）。

欠席、遅刻・早退、提出物の不備や遅れは減点とする。

評価方法	到達目標					評価基準	評価割合 (%)
	①	②	③	④	⑤		
実習態度	◎	◎	◎	◎	◎	実習要項の総合評価表参照	20
実習記録・課題	◎	◎	○	○	◎	実習要項の総合評価表参照	60
発表	○	○			◎	実習要項の発表評価表参照	20
出席						欠席、遅刻・早退は減点 2/3未満の出席で欠格	

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：看護学原論、看護理論、看護管理学、チーム医療論、医療安全管理論、感染管理論、4年間の講義・演習・実習

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：大学看護教育の集大成として、既習の知識・理論・技術を発展・統合させるための実践を中心とした実習です。これまでに培った自己の能力を活用し積極的に実習に臨んでください。この実習によって、自分なりの看護観を形成するとともに、今後の自己課題を明確化できることを期待します。